飛行士の妻（1980）

LA FEMME DE L'AVIATEUR
THE AVIATOR'S WIFE ［米］

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 107分
初公開日 1996/03/02
公開情報 シネセゾン

【解説】

「Ｏ侯爵夫人」、そして、直後の未公開作「ベルスヴァル・ル・ガロワ」と、過去を訪ねる作品展開を離れ、再び、軽やかな現代風俗を描く中、フランス人のエスプリの有りかたを探るロメールが戻ってきた。その新たなシリーズ“喜劇と格言劇”の開幕を飾るこの作品は、一人の不器用で冴えない青年の、古いロマンスへの執着と新しいロマンスの予感を軸に、パリっ子の生活意識を相変わらず巧まず活写して全くお見事な限りだ。

法科に通う苦学生フランソワは夜はパリ東駅の郵便局で働いている。彼には少し前まで付き合っていたＯＬのアンヌという恋人がおり、いまだ未練たらたらの節がある。そのアンヌには妻子持ちの愛人クリスチャンがいたが、いきなり彼女に絶縁をせまってきた。フランソワはアンヌにつきまとうが相手にされず、偶然見かけた、別の女といるクリスチャンを追跡するうち、同じバスに同乗していたリセエンヌ、リュシーが彼の尾行に気づいて、さらにその後ろをついてくる……。こうして意外な形で奇妙な恋愛の相関図ができ、そこにミステリーの要素が加わって、まさにフランス映画、というよりロメール作品らしい味わいが横溢する作品に仕上がった。８１年サン・セバスチャン映画祭批評家大賞受賞作。

【クレジット】

監督	エリック・ロメール	Eric Rohmer
製作	マルガレート・メネゴス	Margaret Menegoz
脚本	エリック・ロメール	Eric Rohmer
撮影	ベルナール・リュティック	Bernard Lutic
音楽	ジャン＝ルイ・ヴァレロ	Jean-Louis Valero
出演	フィリップ・マルロー	
	マリー・リヴィエール	Marie Riviere
	アンヌ・ロール・ムーリー	
	マチュー・カリエール	Mathieu Carriere
	ファブリス・ルキーニ	Fabrice Luchini

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.